

東京の観光振興を考える有識者会議  
第2回江戸の歴史・文化部会

## 主な議論のポイント等

---

令和6年7月19日

# 前回の会議での主な議論

## インバウンドの誘客における江戸の歴史・文化の活用について

- **平和な時代の町**として築かれた**江戸**の成り立ちにおいて、**仏教・茶道・能**が重要な役割を果たした。
- 東京は**世界最大の都市（圏）**で、かつ**清潔・安全**であることが特色であり、その根底には江戸時代の武家文化がある
- **安全で平和**な東京は、海外の大都市と異なり**徒歩で移動・散策**できることが特徴的
- **葵の御紋**には多くの外国人が関心を示すところであり、**大きなブランド力**を持っている。
- 「**水**」は都市の衛生（清潔さ）にもつながり**魅力的**。都市づくりにおける水道の機能などは奥深く、他の都市と比較で**江戸の魅力**を掘り下げることができる。
- **邸宅と庭園**を活用することで、旅行者に奥深い体験を提供できる。例えば、回遊路から庭園を観覧するより、邸内からの視座の方が、庭園本来の形や魅力を感じられる。
- 「江戸買物独案内」などに描かれた**名店**には現存しているものもあり、**観光資源**になるのではないか。

## 江戸の歴史・文化の魅力の旅行者への伝え方について

- 観光PRでは**ビジュアルに訴える**ことが重要なので、近世大名をイメージさせる**兜や印籠**を活用することが効果的
- 「江戸」には、**時代と地名**の両面がある。
- **Googleマップ等**を活用することで、文化財やその土地の情報を、携帯で簡単に知ることができる。
- **ARを活用**して、目の前にお城を見ることができたりといった取組も行われており、こうした**技術を活用して魅力を伝える**ことは有効

## 保存や保全に係る課題、後世に継承してくべき貴重な遺産について

- **文化財の修復**の現場に**子供たちが立ち会える場**を多く設けるべき。
- 江戸の文化を受け継ぐ素材となるものが消えようとしているので、**保護の取組等**についての**情報発信**を進めていくべき。
- **江戸城**は、御殿の跡は残っていないものの、**城門**は非常に**よい形で残っている**。また、**大名庭園**も20か所くらいは跡が残り、**寺社**もよく保存されている。
- 庶民文化として現代まで続く**お祭り・祭礼**や、**現在まで残る地名**は**貴重な財産**

# 今回の主な議論

(本日のプレゼンテーションを踏まえて)

- ◎ 開かれた都市としての江戸の特色・魅力について
- ◎ 歴史や文化にあまり詳しくない方を含め、旅行者への効果的な発信、伝え方について

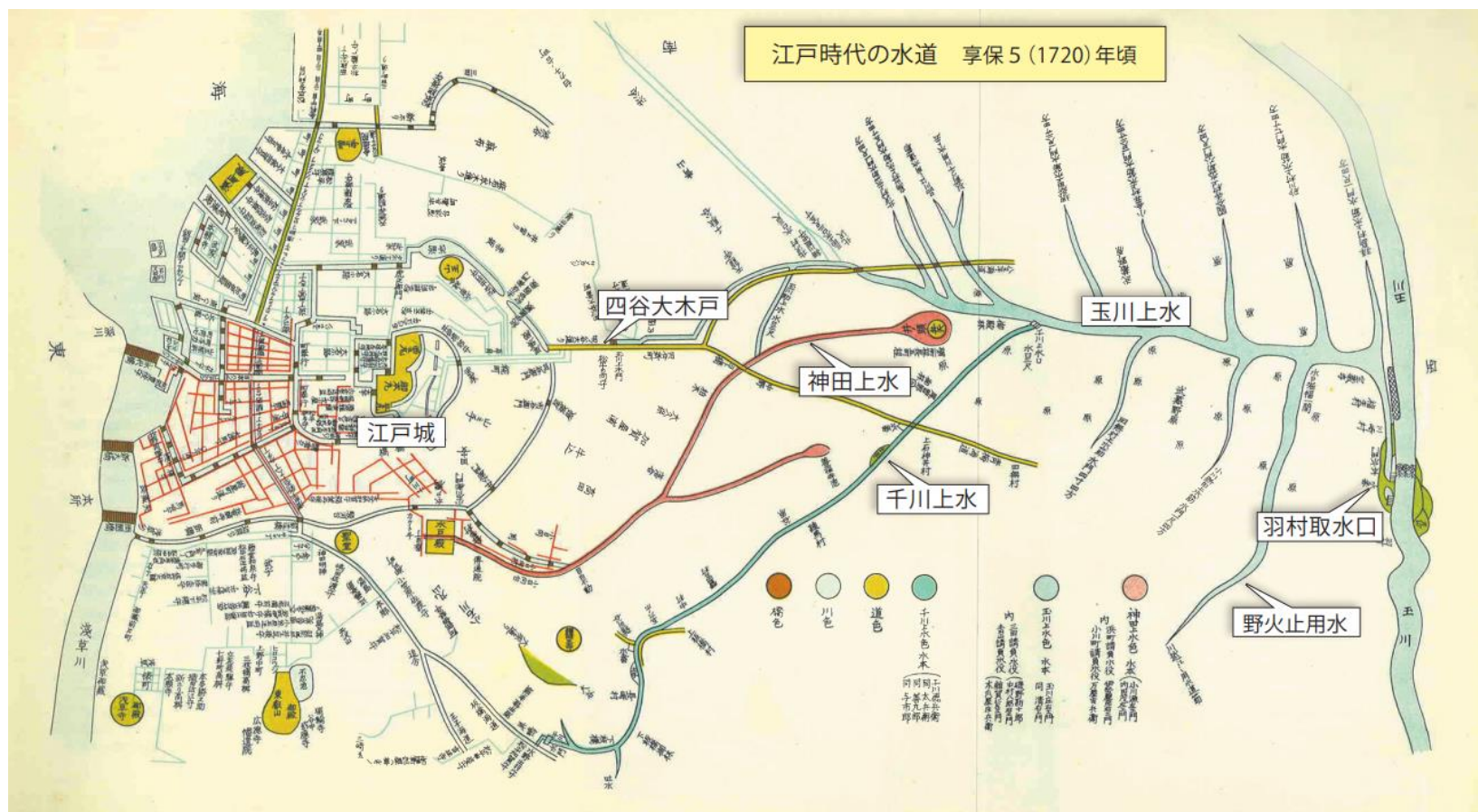
(前回の議論等を踏まえて)

- ◎ 世界遺産等になり得る江戸の普遍的価値、また、その価値を象徴する建造物や景観等、芸能、慣習、祭礼等行事について
- ◎ 歩くことで楽しめる江戸の歴史・文化の魅力や、これをさらに高めていくための取組について



## 参考：江戸の町と「水」について

- 高度な水道技術は、当時、世界最大の人口を誇った江戸のサステナブルな生活の基盤
- 多くの水路が江戸の街を巡り、上水道が江戸城や武家屋敷、町家に広く水を供給
- 当時の水道が今も活躍するとともに、多くの水辺が東京の魅力的な景観等を形成





## 第2回「歴史・文化を軸にした東京の魅力発信に係る懇談会」（令和5年1月25日）

### 会議資料から抜粋

Why?

なぜ、東京には水辺が多いのか？

#### インサイドストーリー

##### （１）江戸の発展と水辺

- ★ 江戸は起伏に富み、至る所に水が入り込む場所に造られた。



出典：東京都立中央図書館「長祿江戸図」

- ★ 石材や木材等の資材を大量に運搬するために水路を開拓



出典：国立国会図書館「正保年中江戸絵図」

- ★ 人を集めるため、山を削り、入江を埋め立て、用地を確保。さらに資材が必要となり、水路整備は江戸の拡大と共に進捗



出典：国立国会図書館「名所江戸百景 柳しま六景」

##### （２）洪水対策

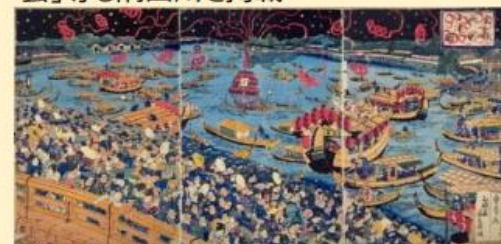
- ★ 江戸の人々を悩ませた災害の一つが洪水
- ★ 江戸を洪水から守るため、山を開削して、切通しを造り、川の流れも変えた。
- ★ それが、今の御茶ノ水付近の水辺の風景を作っている。



出典：国立国会図書館「名所江戸百景 昌平橋聖堂神田川」

##### （３）水辺での憩い

- ★ 江戸では多くの水辺が形成され、人々にとって、身近な存在
- ★ 隅田川では、浅草寺等の寺社仏閣や両国広小路により、多くの人々で賑わった。
- ★ 現代で言うガイドブックである「江戸名所図会」等も隅田川を掲載



出典：国立国会図書館「東都両国夕涼之図」

##### （４）現代の東京

- ★ 現代の東京でも、起伏に富んだ地形は引き継がれている。
- ★ 普段、陸上から眺めることが多い東京の風景も、水の上から眺めると、異なる魅力として映る。

